

調査資料

「那須雪崩事故調査票 5」
【事故発生後の対応関係】

第1班 (大田原高校)

菅又久雄 p 1

第2班 (真岡高校)

渡辺浩典 p 3

第3班 (矢板東高校・那須清峰高校)

澤村哲史 p 7

本嶋佑己 p 9

手塚勝紀 p 11

第4班 (矢板中央高校・宇都宮高校)

高秀大作 p 13

[REDACTED] p 15

第5班 (真岡女子高校・矢板東高校)

小林朋生 p 17

待機

(大田原高校) 猪瀬修一 p 19

(宇都宮高校) 池間明徳 p 21

1, 2日目参加者

(大田原高校) 若林徹大 p 23

(矢板東高校) 関谷恭弘 p 25

(宇都宮東高校) 島田幹男 p 27

(さくら清修高校) 後藤 尚 p 29

(さくら清修高校) 吉澤順一 p 31

1日目参加者

(宇都宮女子高校) 早川大介 p 33

2日目参加者

(大田原女子高校) 荒井 徹 p 35

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（真岡高等学校） 職・氏名（教諭 菅又 久雄）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）
瞬間に雪崩に巻き込まれたため、正確な発生時刻ははっきりしていない。その前の段階で時計を見て、覚えているのが8:30だったため。
- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）
自身も事故に巻き込まれ埋もれてしまったため、無線からの連絡ややり取りが聞こえたが、応答出来なかった。渡辺教諭が無線で本部の猪瀬委員長を呼んだが、その時は猪瀬委員長に連絡がつかないようであった。
- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。
雪崩に巻き込まれ埋もれていて正確な時間は把握できていないが、約10分後、3班および4班の澤村教諭、高秀教諭が来て掘り出してくれた。私は掘り出された後、すぐに近くの他の顧問とスコップでの掘り出しを手伝ったが、すぐに胸の痛みが激しく動けなくなってしまった。2班の渡辺教諭も合流し、必死に掘り出しを行っていた。私は人数やメンバーの確認を行ったが、痛みで大きな声は出せなかった。
- 4 救助隊到着後の救出・搜索の状況についてわかるなどを記入してください。
救助隊到着後も、救助隊に人数やメンバー等について伝えたが、痛みで大きな声は出せなかった。DMATのドクターたちがトリアージタグをつけていき、私が搬送されたのは最後の方だったが、その前に全員が発見され掘り出された。8名が黒タグと聞き、状況を理解し絶望した。
- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。
自身が那須赤十字病院のICUに搬送され入院してしまったため、同校の正顧問渡辺教諭が対応してくれた。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（ 真岡高校 ） 職・氏名（ 教諭 渡辺浩典 ）
現任校：栃木高校

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）
 - ・下山を開始してまもなく自分も巻き込まれ、流されたがまもなく止まり自力脱出できた。雪崩の発生を認識した。
- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）
 - ・雪崩から自力脱出した後、見える範囲に自分の班の生徒1名がいた。
 - ・振り返ると、少し上の離れたところに他の班（後で3・4班と認知）がおり、混乱した様子であることが見え、やはり雪崩に遭遇したと認識した。
 - ・最初に主任講師を無線で呼び出すが、応答はなかった。
 - ・次に本部を無線で呼び出すが、応答はなかった。
 - ・上にいる他の班で人員点呼を行っており、講師（おそらく矢板中央高校の高秀教諭）に呼びかけて、自分が率いていた2班の真岡高校の残りの生徒（7名）が付近にいるか、確認を依頼する。
 - ・依頼された講師が「真岡高校いるか」と呼びかけ、その後、「真岡高校全員います」との返答を得る。しかし、その後1名（ ）いません、いややはり全員います、と情報が二転三転する。
 - ・とりあえず、自分が率いていた2班と上部にいた3・4班が全員無事であることを確認する。
 - ・沢筋にいるとまた雪崩に巻き込まれる危険性があるので、尾根筋に移動するように呼びかける。これを受けて上部の班でもそのような指示を生徒に出す。自分の近くにいた生徒にも尾根筋への移動を指示する。
 - ・この際に、自力歩行できない者がいるとの報告が、離れた場所にいる真岡高校の生徒からもたされる。
 - ・主任講師、本部を無線で呼び出すが応答はない。この時点では、雪崩に巻き込まれたのは2～4班で、主任講師が率いた1班は巻き込まれておらず行動を続けているものと考えた。
 - ・本部と連絡が取れず、自力歩行できない生徒がいるので、回りの者が介助して自力下山する必要があると判断する。
 - ・この頃、自分たちが流された沢筋とは尾根をはさんだ別の沢筋から「おーい」との声が聞こえる。先ほどの人員点呼で情報が二転三転したので、全員無事が確認されたと考えた2～4班のうちまだ誰かがそこにいると判断した。
 - ・居合わせた教員のなかでは自分が一番経験があると考えたので、自力下山するル

ト確認は自分が行くべきだと判断し、尾根筋を降りていく。ある程度おりて下山の見込みがついたところで引き返し、最初の地点に戻ると先ほど声がした方で1班の菅又教諭が救出され、さらに他の者の救出にあたっているのが見える。

- ・この時点では1班も雪崩に巻き込まれ、自力脱出できないので2～4班より重篤な状況であることを認識した。
- ・おそらく下山ルートを確認しようとしている間に、5班講師の小林教諭と無線で交信できるようになっていた。そこで、小林教諭に無線で救助要請を依頼する。その後、小林教諭も本部と連絡がつかないとの連絡があり、本部となっている旅館ニューおおたかには委員長がいるはずだから、直接そこへ行って連絡するように無線で依頼する（小林教諭と交信できるようになった際、小林教諭は無線での呼びかけを傍受して上部での異常を察知し、下部にいた5班はレストハウスへの退避行動をしていることを知る）。

3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。

- ・居合わせた教員3～5名（おそらく矢板中央高校の高秀教諭、■教諭、矢板東高校の澤村教諭、那須清峰高校の本嶋教諭、手塚教諭）がスコップを使って救出活動にあたる。救助要請をした後、自分も救出活動に加わる。
- ・1班で雪崩に巻き込まれて救出された、1番上部にいた生徒が、自分は木に当たって止まったが、他の者は団子状になって流されていったので、自分より下にいるはずだと話を聞く。そこで、捜索範囲をそれより下に絞って、自分のもっていたストックをゾンデ棒代わりにして捜索する。何か当たりがあつたら、スコップを持っている教員に掘ってもらう。
- ・救出活動している教員から、「ここに居る」などの声があがる。
- ・本部の猪瀬教諭から救助要請をしたこと、警察が到着したこと、救助隊が到着したことなどが順次無線で連絡される。
- ・猪瀬教諭から、救助隊が入るので場所を知らせてほしいとの無線連絡があり、大体の場所を説明する。
- ・その後、救助隊が入っているが、見えないかとの無線連絡が猪瀬教諭からあり、尾根筋で待機している者から「おーい」を声をかける。
- ・尾根筋で待機している生徒の近くにいる教員（おそらく那須清峰高校の本嶋教諭）に呼び笛を出して吹くように依頼し、誰かが呼び笛を吹き始める。猪瀬教諭にはこちらで呼び笛を吹いているので、それを頼りに場所を探すように無線で依頼する。
- ・尾根筋で待機している者から、真岡高校の生徒（…）が厳しい状態ですとの報告が入る。救助隊がもうこちらに向かっているので、保温して頑張るように伝える。
- ・1班の人数を、救出された菅又教諭および無線で猪瀬教諭に確認する。居合わせた教員によってすでに救出された人数（5名）を確認し、まだ捜索しなければならない人数（8名）を確認する。救出作業している教員に、諦めないで捜索を続けるように声をかける。
- ・猪瀬教諭から、救出されたり所在が確認された、1班の生徒の氏名や意識があるかなどの問い合わせが無線で入る。
- ・救出された1班の生徒で比較的元気な者が救出作業に加わり、おそらくこの生徒が氏名を確認し、おそらく矢板中央高校の■教諭が氏名や意識の有無を無線で報告する。

- ・救出にまでは至らないが、残り 6 名の所在を居合わせた教員で確認する。
- 4 救助隊到着後の救出・捜索の状況についてわかることを記入してください。
- ・救助隊が到着すると、教員が所在を確認していた者の救出作業に着手する。
 - ・これと前後して、おそらく教員がもう 1 名の所在を確認し、呼吸があることが分かる。救助隊は他の救出作業よりもこの者の救出作業を優先する。
 - ・すると、そのすぐ近く（上部？）に最後の 1 名の所在が確認される。
 - ・猪瀬教諭から、1 班全員の安否が確認できているのかわからないとの無線連絡に入る。そこで、近くにいる教員（おそらく矢板中央高校の [] 教諭と那須清峰高校の手塚教諭）にも依頼して、改めてすでに救出された人数と救助隊が救出作業を行っている人数を確認する。菅又教諭および猪瀬教諭から伝えられた 1 班の人数（13 名）と合致するので、1 班全員確認できていることを無線で猪瀬教諭に伝えるとともに、現場の消防の責任者と思われる方に口頭で報告する。
 - ・行方不明者がいないことが確認できたので、救出作業は救助隊の方に委ね、自分は現場を離れて、尾根筋で待機している者と合流する。
 - ・自力歩行ができない真岡高校の生徒 3 名（[]、[]、[]）にどんな様子か、声をかける。
 - ・救助の方が、待機していた者、救出された者など全員の怪我の状況などを確認しタグをつける。
 - ・救助隊の方が搬送する用具が足りないとのことなので、自分が持っているツェルトを提供する。また、救出された菅又教諭が低体温症なので温かい飲み物はないかと聞かれたので、自分のテルモスを提供する。
 - ・自力歩行できる者は、救助隊の方に付き添われて下山することになる。自分も下山しようとするが、1 班の人員確認がやや混乱して自分が中心となって確認したり、事故発生後も現場で中心的な役割をしていると考えたので、救助隊の現場責任者と思われる方に自分は残った方がよいのではないかと申し出て、残ることにする。
 - ・自力歩行できない者は、優先順位をつけて順次搬送される。
 - ・自力歩行できない者で最後になる、真岡高校の生徒（[]）が搬送されるのに付き添って下山する。
- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。
- ・救出作業にあたっている時に無線で 5 班の小林教諭に学校への連絡を依頼すると、すでに連絡してあるとの報告を受ける。そこで、救出作業を優先する。
 - ・下山後、レストハウスで電話で教頭に連絡をする。すでに小林教諭から連絡を受け、家族に連絡済みであるので、現場での対応（下山した生徒の帰還の手配など）を行うことなどを指示される。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（矢板東高校）職・氏名（教諭・澤村哲史）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）
 - ・気づいたら雪の壁のようなものが目の前に来ていた。それまで雪崩の音や誰かが叫んでいる声などは気づかなかった。8時半頃に休憩をし（そのとき腕時計で時間を確認した）、その後5～10分後（感覚的に）に雪崩があったと思うので、8時45分前頃に雪崩があったと思う（雪崩にあったときは時間を確認していない）。
- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）
 - ・安否確認などを優先し初期対応では、怪我の救助要請の連絡はしていない。3班の班員の無事と、特に大きな怪我はなかった等の旨を無線と口頭で2・3・4班の引率の先生にした。2・3・4班の引率は皆声が届く範囲にいた。1班は連絡が取れなかった。その後、本部に救助要請の連絡をしたが、応答はなかった。
- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。
 - ・すぐに安否が確認できた3・4班の生徒たちに、できるだけ高いところに避難させ、あたたかい格好で待機するように指示した。
 - ・すぐに安否が確認できなかった2班の生徒の安否を確認した。怪我した生徒がいたので、3・4班の生徒がいる場所に移動させ、2班の生徒に雪洞を作らせ、あたたかい格好にさせるよう指示をした。
 - ・渡辺先生の指示の元、2～4班の引率教員が1班の生徒・教員の搜索をしに、2～4班の生徒が流された場所とは隣の沢筋の搜索に当たった。沢の方に下りていくと、菅又先生が怪我を負って座っていた。重傷だったようで動ける様子はなかった。そのときに1班の生徒が何人かすでに掘り出されていた。
 - ・掘り当て生存が確認された1班の生徒はあたたかい格好で待機させた。
 - ・2～4班の教員で、ピッケルやシャベル等を使い、1班の生徒が掘り出されていた付近を搜索した。その際、本部または5班の引率の先生に向けて人がどの様子や行方不明者の人数等を無線で知らせた（応答が誰だったかは覚えていない）。
 - ・救助隊が林を登ってくるという無線が入り、引率教員1人（本島先生だったと思う）が生徒たちが待機している高い位置に行き、呼び笛を鳴らし続けた。
 - ・捜索し掘り出し続け、行方不明者があと3人か4人くらいになったときに（うち2

人くらいは体の一部は出ていたと思う）に、救助隊が到着した。

4 救助隊到着後の救出・搜索の状況についてわかることを記入してください。

- ・救助隊が到着してからは、基本的に救助隊が搜索に携わり、引率教員は埋まっていると思われる場所の指示等を行った。その後掘りだされた一人が、呼吸しているのが確認された。
- ・行方不明者1、2人のいる場所が特定されたくらいのところで（まだ体全体は掘り出されていない）、救急隊とともに下山するよう指示される。

5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。

- ・13時頃にセンターhausに戻ってきた後、携帯電話で学校に連絡した。参加生徒家族には、前日に学校に戻っていた矢板東の関谷教諭が、警察からの連絡を受け、10時30分頃連絡をした。

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（那須清峰高等学校） 職・氏名（教諭 本嶋 佑己）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）
流されてはじめて認識しました。時間は8時25分から30分の間だと思います。樹林帯のおわりで休憩した際に携帯電話で写真を撮影しています。休憩が終わり、3分～5分程度登った地点で雪崩にあいました。
- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）
しませんでした。第一に、同じく現場にいた教員が本部に無線連絡したと言っていたからです。第二に、本部に連絡済みであれば自分たちが優先すべきは救助だと判断したからです。通報までに時間がかかったことを知ったのは下山してからなので、事情は知りませんでした。
- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。
無事だった生徒を沢沿いから避難させ、現場の教員で救助作業を行いました。他の人の行動に関して詳しくは覚えていません。
- 4 救助隊到着後の救出・捜索の状況についてわかるなどを記入してください。
生徒の近くにいたので、知りません。
- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。
発生後、救助作業をしていましたが、1時間半後の10時7分に本校の教頭からの着信に気づき、折り返し電話をかけて、本校生徒・引率は無事であると伝えました。生徒の家族に対しては、その後学校から電話連絡をしたと聞かされました。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（ 那須清峰高等学校 ） 職・氏名（ 実習助手 手塚 勝紀 ）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）

不意に雪崩に巻き込まれて認識しました。

- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）

雪崩があった後、教員、生徒の安否確認、確認できる範囲の雪崩による被害を受けている生徒の救助を行っていました。その最中に無線を通じて救助を要請するやりとりが聞こえました。

- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。

雪崩が発生し流された後まず学校ごとに大声で生徒の安否確認を行いました。少し離れた場所に他の高校の生徒教員がいて、確認が取れる範囲で自校の状況を確認し合いました。自分がいる場所より 10 mほど離れた山頂よりの木の付近に生徒数名が救助を要請していることに気づき、自校の生徒に待機を告げ自校の教員と救出に向かいました。救助を行った場所は尾根沿いに位置していて沢の方面がみえる場所でした。そちらをのぞくと教員が捜索をしている状況でした。手の空いている教員に対し応援を要請する声が聞こえたため、二人で応援に向かいました。それから私は救助隊が来るまでの間捜索にあたっていました。救助隊が向かい始めて間もなく、場所を知らせるため生徒に笛を吹かせました。

- 4 救助隊到着後の救出・捜索の状況についてわかるなどを記入してください。

救助隊が来る少し前まで残り 2 人が見つからず、来てまもなく二人を見つけ救助隊の方々に救出を行ってもらいました。

- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。
下山が完了しロッジに着いた際生徒に保護者へ連絡するよう促しました。

学校へは雪崩が起きた 30 分ほど後に、同校の教員が一報を入れ下山した後学校へ再度連絡しました。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（ 黒磯高等学校 ） 職・氏名（ 常勤講師 高秀大作 ）
当時 矢板中央高等学校

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）

4班の休憩中、3班と交差する際に、沢村先生と挨拶をした（上述）。その際に、時計を見た際に、8：30だったので、『あと1時間くらいで終わりだから、もう下りて第一リフトの方へいけばいいだろう』と思いました。3班の最後を歩いていた本嶋先生が目の前を通り過ぎて、10歩も進まないうちに、休憩地点から上方で、ゴーという風が吹くような音がしました。最初は突風かと思い、少し下を歩いていた矢板中央高の生徒に「耐風（姿勢）」と呼びました。しかし、その瞬間に真っ白な塊が通り過ぎていったので、直感で「雪崩だ」と思いました。

- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）

「雪崩だ」と思った後、すぐに無線機に呼びかけましたが、応答がなく、本体を見ると赤いランプが点滅しており、使用できないとわかりました。

- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。

私は4班の生徒の安全を確認しました。宇都宮高校の生徒にけがの有無を聞くと、全員大丈夫だと答えました。また矢板中央の生徒も3名とも大丈夫だと答えたので、宇都宮高校の生徒がいた場所へ移動させ、4班全員を一ヵ所に集めました。また3班もすぐ近くにいたので、3・4班を合体させ、4班の先生に生徒をお願いしました。

班員の無事を確認した後、（記憶が定かではないが）声がしたので、そちらを見ると、真岡高校の2名を確認しました。うち1名（■君）が雪崩に巻き込まれ負傷し、動けなくなっていることを確認。直後、雪崩の下流から渡辺先生が登ってきました。渡辺先生に対して、各班の状況について報告しました。真岡高校は、私たちがいた所の近くを真ん中に、上下流に大きく3つに分断されていました。私が真ん中地点に近かったので、上流のグループの人数とけが人の様子などを中継して渡辺先生に伝えました。人数の混乱がありましたが、最終的に全員の姿が確認できることができました。

その後、自分の班の所に戻ろうとしましたが、「手を貸してください」と言わされ、尾根の向こう側を見ると、雪面から3人分の手が飛び出でていて、円を描く

ように動いていました。すぐに沢筋へと下りて、一番手前の菅又 CL を掘り出し、3人中最も上流にあった手の所に行き、木に海老反りになって押しつけられている大田原高校生徒1名を確認。当該生徒は痛みを訴えていました。清峰高校の手塚先生が応援に来てくれたので、二人雪をかき分ける。ある程度雪を除いたところで、今度は下流側の手があった所で救助に当たっていた■先生から応援依頼があり、私が移動しました。足先が雪に埋まっていて抜け出せない大田原高校生徒1名を確認。すぐに救出できたが、その足下にさらに生徒が埋まっていると聞き、雪を掘りました。雪に埋まった生徒1名を発見する。唇は土気色で呼吸なし。体全体を引っ張り出そうとしましたが、雪が堅く、掘り続けることもできませんでした。

めがねやピッケル、ソール部分が見えたので、その部分を掘っていくと、大田原高校生徒1名が宙返りする形で雪に完全に埋没しているのを確認しました。左肩から上腕にかけての部分が雪に完全にはまっていて、引っ張りあげることができませんでした。

ほかの先生方も生徒を掘りだしていたが、残り2~3名がどうしても見つからず、生徒が集中していた範囲を中心に、緩やかなS字を描くような沢筋であったことから、吹きだまりやすい部分を重点的に掘っていきました。その後、救助隊が到着しました。

4 救助隊到着後の救出・捜索の状況についてわかることを記入してください。

救助隊到着後、私は意識が朦朧としていたので、渡辺先生に「少し休ませてください」と申し出ました。横になっていると、生徒が一人雪の中で生存していると声が上がったのを覚えています。

それ以降は、生徒たちと一緒に下山しました。

5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。

事故発生後、すぐに救助活動に入ったため、学校に連絡を取ることができませんでした。代わりに■先生が学校へ連絡をしてくれたと思います。

レストハウスに戻ってきた後に、13:30頃、学校から連絡があり、無事の報告をしました。その前にも■先生が連絡を入れたと思います。

参加者家族へは、生徒に私の携帯電話からそれぞれの自宅に電話をかけさせました。

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（矢板中央高等学校） 職・氏名（■■■■■）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）

時刻はわかりません。雪崩がいつ起きたのかはわかりませんでした。音も振動も感じませんでした。

- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）

最初に埋まっている生徒が近くにて、私がスコップを持っていたので、連絡よりも先に掘り出すことを優先しました。他の先生が無線機で話している様子があったので連絡はそちらにおまかせしました。事故発生から通報まで時間がかかった理由はわかりません。現場では行方不明の人数の把握も時間がかかったので、そのためではないかと思います。

- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。

無事な生徒を安全な場所に集めるのと同時に、行方不明の生徒を探して雪を掘っていました。救助隊に場所がわかるように呼び笛を吹くように指示したり、発見された生徒の名前と状態を無線機で報告していました。

- 4 救助隊到着後の救出・搜索の状況についてわかるなどを記入してください。

特にありません

- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。

救助作業をしている合間を縫って学校に携帯電話で本校の生徒の状態を報告しました

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（ 真岡女子高 ） 職・氏名（ 教諭・小林朋生 ）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）

8時30分に休憩を入れた後に、無線で「雪崩れました」との連絡を受けました。
ですので、雪崩発生時刻は8時30分過ぎだと認識しています。

- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）

8時40分～45分頃、渡辺先生から「生徒が何人か雪崩れに巻き込まれた模様。本部応答願います。」と無線が入りました。しかし、本部からの応答がなく、無線が入りにくいのかと思い、私が無線の中継役になり本部を呼んでみたが応答がありませんでした。2次災害も心配されたので、5班の生徒達と一緒に下山を開始し、半分まで降り安全が確保できたところで生徒達だけでセンターハウスまで下山してもらい、テントで待機しているよう指示を出しました。私も雪崩の救助に向かった方が良いと思い、途中まで登り返しましたが、雪崩発生場所もわからず、渡辺先生から本部を呼ぶ無線が何度もあっても本部が応答しないことに不安を覚え、下山することを選択しました。センターハウスに到着した時刻が9時でした。センターハウスから無線で渡辺先生に呼びかけ「そこから本部に無線を入れ、応答がなければ歩いて本部に向かい、猪瀬先生に警察と消防に救助要請をしてもらうように」と指示をもらいました。センターハウスから本部に無線を入れましたが応答がなかったので、徒歩で本部であるニューおおたかに向かいました。ニューおおたかに到着した時刻は9時15分です。駐車場で荷物を積み込んでいる猪瀬委員長を見つけ、警察と消防に救助要請をお願いし、通報した時刻が9時20分となりました。

- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。

ニューおおたかの固定電話をお借りし、警察や消防の方と連絡できました。
携帯電話の充電器をお借りし、携帯電話が回復し、学校から不在着信があったことが確認できました。

真岡女子高校、真岡高校、矢板東高校の校長先生・教頭先生からニューおおたかに

電話があり状況を報告することができました。正直、学校への連絡まで頭が回っていませんでした。

那須塩原署からも部署違いでニューおおたかに電話があり、わからることを報告することができました。また、すぐに電話がとれる場所にいて欲しいと指示を受けました。

- 4 救助隊到着後の救出・搜索の状況についてわからることを記入してください。

ニューおおたかにいたため、救出・搜索の状況はまったくわかりませんでした。

- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。

学校からニューおおたかへの電話を入れてもらえたので、連絡を取ることができました。時刻は9時45分頃だったと思います。

携帯電話も復旧だったので、その後は携帯電話を使用し学校と連絡を取ることができました。

参加者家族へは学校から連絡をしてもらいました。

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（大田原高校） 職・氏名（教諭 猪瀬修一）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）

・本部（旅館）において、5班の講師の小林先生が本部に来てくれて知りました。

9：20分ごろに110番をしたので9：15分ごろだと認識しています。雪崩の発生が8：30分過ぎだったと知ったのは、事故後、27日の夜に、学校に戻った後、高秀先生（矢板中央高校）に聞き驚きました。

- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）

・本部の片付け等を一人でしていて、常に無線機を携帯してはいませんでした。

9時前ごろからは、車に荷物を移動し、旅館代の清算などを行っていて無線機及び携帯電話は車の中においてあったと記憶しています。携帯電話についてはその間の着信履歴はありませんでした。

- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。

・110番した後、すぐにスキー場のロッジに向かい無線機で現地を呼び出しました。最初に応答してくれたのは渡辺先生だったと記憶しています。かなり緊迫した状況のようでした。すぐに警察の方2名がロッジに来てくれてその後は、続々と救助隊の方が来てくれました。私は、無線機で呼びかけながら、現地の状況等を消防の方に伝える役をしていました。

- 4 救助隊到着後の救出・搜索の状況についてわかるなどを記入してください。

・当時は、起こったことの認識が正確にできず、周りのことはよく覚えていません。

- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。

・スキー場のロッジから学校（教頭）と携帯電話で雪崩発生の報告をしたと記憶しています。参加者家族へは、学校から連絡してくれたと思っています。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（宇都宮高等学校） 職・氏名（教諭 池間明徳）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）
(10:30ころ。本校の青木茂実前教頭からの電話連絡。前教頭の通話記録による。)
 - 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）
(事故の発生を知らず、連絡する立場になかった)
 - 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。
- 【以下の3、4の設問について、訓練に参加していないので記入できない】
- 4 救助隊到着後の救出・捜索の状況についてわかるなどを記入してください。
 - 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。

参加者家族：19時～20時の間に、ロッジ2階の食堂から、参加者名簿を元に携帯電話で連絡。

学 校：適宜。主にロッジ内から、教頭（途中から校長）に携帯電話で連絡。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（栃木県立大田原高等学校） 職・氏名（教諭・若林 徹大）

【事故発生後の対応関係】：前日に下山し、校務のために学校にいた。事故の一報を受け、事故当日に現地に派遣され、国民休暇村で情報を収集した。

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）

9：30ごろに第1報が事務室に入ってきたときに事故が発生したことを知った。

- 2 事故発生後の初期対応について、あなたは無線又は携帯電話で誰かに救助要請の連絡をしましたか。連絡した場合は、いつ誰にどのような手段で連絡をしましたか。その時応答はありましたか、ありませんでしたか。また、連絡をしなかった場合は、その理由を記入してください。（特に通報までの経過、事故発生から通報まで時間がかかった理由についてもわかる範囲で記入してください。）

現場にいなかったので回答できず。

- 3 事故発生から救助隊が到着するまでの周辺の人たちの行動で覚えていることを記入してください。

現場にいなかったので回答できず。

- 4 救助隊到着後の救出・捜索の状況についてわかることを記入してください。

現場にいなかったので回答できず。

- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。国民休暇村で情報収集していたときに、携帯電話で学校に情報を伝えたり、国民休暇村に来ていた参加者家族に口頭で伝えたりしていた。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（栃木県立矢板東高等学校） 職・氏名（ 教諭・関谷 恭弘 ）

【事故発生後の対応関係】

1から4まで記載なし。

- 5 事故発生後、参加者家族・学校へは、いつ、どこで、どのように連絡をとりましたか。
3日目は、新入生オリエンテーションのため矢板東高校の東雲ホール（多目的教室）
にて、生徒指導関係の講話をを行っていた。
講話終了の10時ごろ事件発生を、附属中教頭より伝えられる。矢板警察署より連絡
があったとのこと。
現地本部のニューおおたかに電話連絡し、対応をしていた真岡女子高校の小林先生よ
り矢板東高校の生徒・引率教員の無事を知る。すぐ、各家庭に電話連絡。
午後、現地に向け出発。大丸の駐車場にて、小林先生と県北地区の迎えに来てくれた
バスの中で過ごしていた。主に女子生徒と携帯電話で連絡はとれた。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（宇都宮東高校） 職・氏名（教諭 島田 幹男）

【事故発生後の対応関係】

1から5まで、「現場にいませんのでわかりません」と回答。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（栃木県立さくら清修高等学校） 職・氏名（教諭・後 藤 尚）

【事故発生後の対応関係】

1から5まで、「27日は参加していないのでお答えできません」と回答。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（栃木県立さくら清修高等学校） 職・氏名（教諭・吉澤 順一）

【事故発生後の対応関係】

- 1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）
→該当しない。（下山していた。）以下（2から5まで）同じ。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票5

勤務校（宇都宮女子高校） 職・氏名（教諭 早川 大介）

【事故発生後の対応関係】

1から5まで、「初日の講話・学科講習のみの参加であり、該当せず」と回答。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 5

勤務校（大田原女子高等学校） 職・氏名（教諭・荒井徹）

【事故発生後の対応関係】

1 雪崩の発生をいつどのように認識しましたか。（基本調査で回答した雪崩発生時刻とその時刻を回答した根拠について記載して下さい。）

3日目は参加しておりません。

学校で仕事中の月曜日午前10時30分ごろに、「高体連が雪崩に巻き込まれたらしい」との話を同僚から聞いて知りました。

2から5までは、「3日目は参加しておりますので、回答できません」と回答。